



水稻用一発処理除草剤

技術資料

# アップパレZ<sup>®</sup>

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

**新登場**

## 手強い水田雑草に**喝!**



**Sokojikara**  
**クログワイに底力!!**

アップパレZは、(公財)日本植物調節剤研究協会の問題雑草一発処理試験(A-1S)にてクログワイに高い効果を持つ事が確認され、上記マークを付与されています。

©は協友アグリ(株)の登録商標です。

# 手強い水田雑草に喝!

アップレZ は、ノビエをはじめ広葉、カヤツリグサ科雑草、さらにスルホニルウレア(SU)抵抗性雑草にも優れた効果を持つ「ピラクロニル」、高葉齢のノビエ、難防除の多年生雑草、各種のSU抵抗性雑草に高い効果を示す「プロピリスルフロン」、防除の困難なホタルイに高い効果を持つ「プロモブチド」を含む水稲用一発処理除草剤です。

アップレZの一発処理は、クログワイにも高い効果を発揮するため、多年生雑草が問題になる水田においても中後期除草剤の使用頻度を減らせます。

1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボの3剤型をラインナップしており、使用者の多様なニーズに対応します。

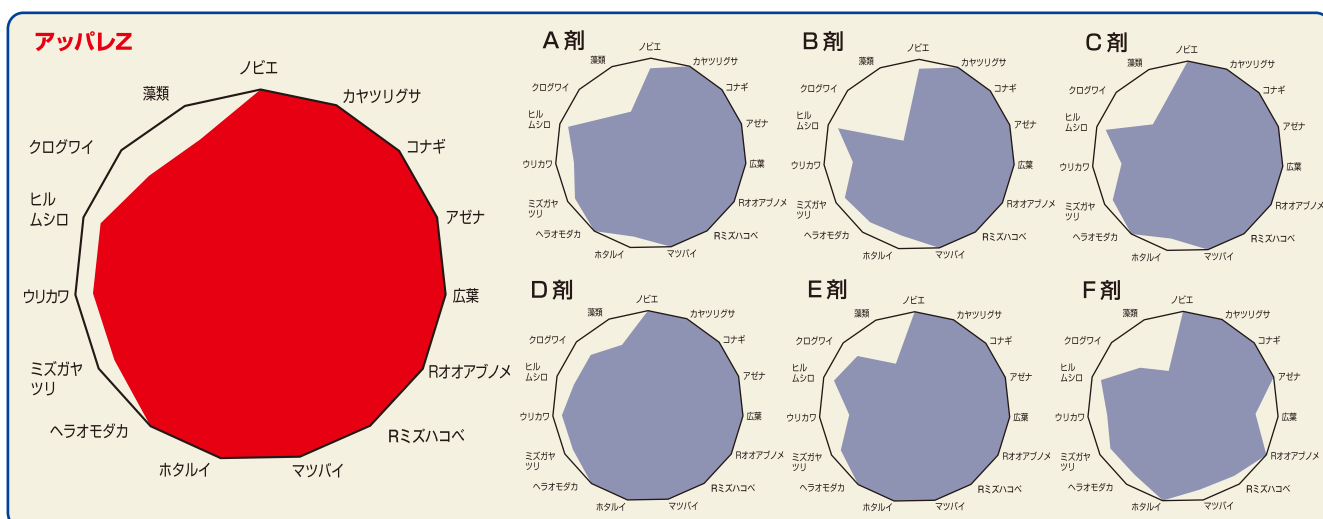
## アップレZの各種水田雑草への効果評価

アップレZの日本植物調節剤研究協会(日植調)委託の全試験データ(適2)を各種水田雑草の残草量に基づき、右の表の通りの点数付を行いました。

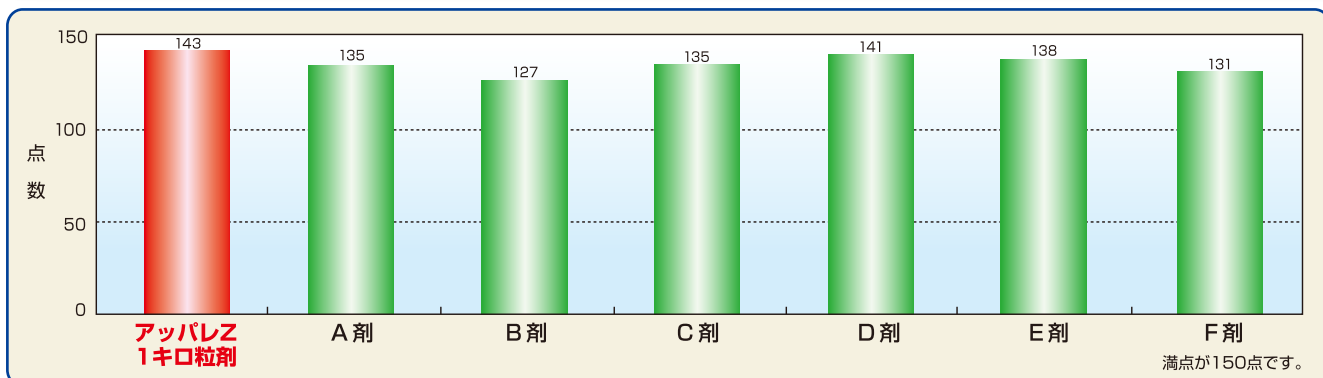
| 委託試験での残草量(%) | 1%未満 | 2~10% | 11~20% | 21~100% |
|--------------|------|-------|--------|---------|
| 評価点数→        | 10点  | 8点    | 4点     | 0点      |

各種雑草の効果を示すレーダーチャートと、点数合計を以下に示しております。15種類の水田雑草を評価しており、満点が150点になります。通常クログワイに対する評価は体系処理で行われますが、アップレZについては、新しい試験区分(問題雑草一発処理試験:A-1S)で行われています。

## アップレZの各種雑草に対する効果評価(レーダーチャート)



## アップレZの水田雑草に対する総合評価(各種雑草への効果評価の和)



Sokojikara  
クログワイに底力!!

アップレZの一発処理で難防除雑草対策!





## アッパレZの3つの有効成分

### ピラクロニル

- ノビエ、SU抵抗性雑草など幅広い雑草に高い効果を示す
- 効果の発現が非常に速い

### プロピリスルフロン

- 多年生雑草に高い効果を示す
- 新規ALS阻害剤であり、SU抵抗性雑草にも高い効果がある
- 3葉期のノビエも防除可能

### ブロモブチド

- SU抵抗性雑草にも効果を示し、特にホタルイに対する効果が高い

## アッパレZの特長

ノビエはもちろん、SU抵抗性ホタルイ、クログワイにもしっかりと効果を発揮

- SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、アゼナ等)にも高い効果を発揮します。
- クログワイ等の多年生雑草を長期間強く抑制します。
- 高葉齢(3葉期)のノビエにも優れた効果を示します。
- 効果の発現が速く、長期間持続します。

## 殺草スペクトラム

| 有効成分<br>及び<br>薬剤名       | ノビエ | 一年生<br>カヤツリグサ科 | コナギ | その他広葉 | ヘラオモダカ | ホタルイ | マツバイ | ウリカワ | ミスガヤツリ | セリ | ヒルムシロ | クログワイ |
|-------------------------|-----|----------------|-----|-------|--------|------|------|------|--------|----|-------|-------|
| ピラクロニル<br>(20gai/10a)   | ●   | ●              | ●   | ●     | ●      | ◎    | ●    | ◎    | ○      | ×  | ◎     | ◎     |
| プロピリスルフロン<br>(9gai/10a) | ●   | ●              | ●   | ●     | ●      | ●    | ●    | ●    | ●      | ●  | ●     | ●     |
| ブロモブチド<br>(90gai/10a)   | ◎   | ●              | ●   | ○     | ○      | ●    | ●    | ○    | ◎      | —  | —     | ◎     |
| <b>アッパレZ</b>            | ●   | ●              | ●   | ●     | ●      | ●    | ●    | ●    | ●      | ●  | ●     | ●     |

除草効果: ●極大 ◎大 ○中 △小 ×無 —データなし

## 各種水田雑草に対して高い効果を示す

### 適用雑草



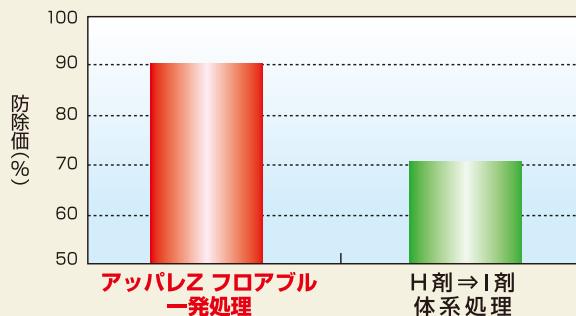
# クログワイに喝!



**難防除のクログワイに対する効果**  
アッパレZの一発処理で、高い効果が長期間持続した。

## 問題雑草一発処理試験: A-1S クログワイ試験結果

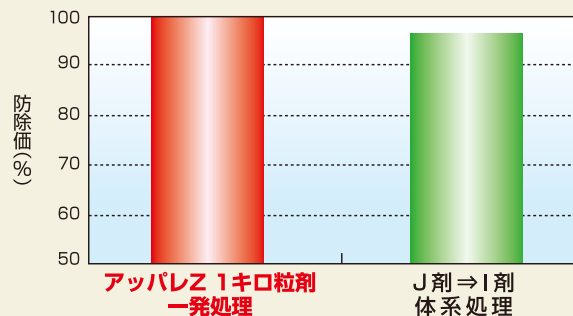
■クログワイ発生前処理(移植後70日調査)



試験場所: 大阪府立環境農林水産総合研究所(2014年)

供試薬剤: アッパレZ フロアブル(500mℓ/10a +20 処理)一発処理  
H剤(+20)⇒I剤(+51)体系処理

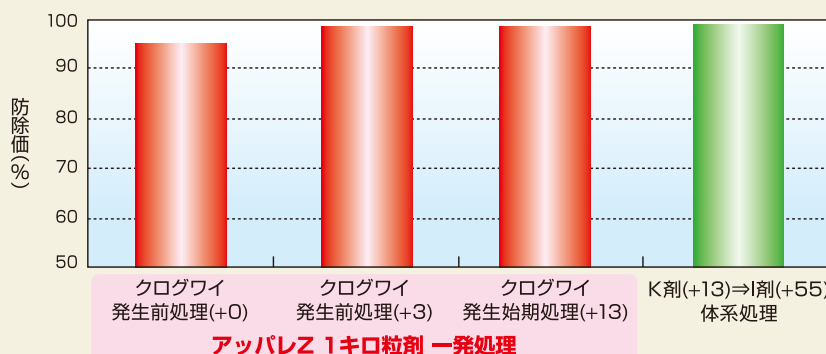
■クログワイ発生始期処理(移植後78日調査)



試験場所: 高知県農業技術センター(2014年)

供試薬剤: アッパレZ 1キロ粒剤(1kg/10a +5 処理)一発処理  
J剤(+5)⇒I剤(+42) 体系処理

■クログワイ発生前、発生始期処理(移植後104日調査)



アッパレZ 1キロ粒剤 一発処理



Sokojikara  
**クログワイに底力!!**

試験場所: 日植調 福岡試験地(2014年)

供試薬剤: アッパレZ 1キロ粒剤(1kg/10a)一発処理  
K剤⇒I剤体系処理

クログワイに対して、アッパレZの一発処理は、比較の一発処理除草剤と中後期除草剤との体系と同等以上の効果を示し、発生始期処理で、その効果は顕著であった。

## 生育期のクログワイに対する効果 (協友アグリ研究所 2015年)



アッパレZ 1キロ粒剤



E 剤



G 剤



A 剤



無処理

試験薬剤・薬量: 各1キロ粒剤1kg/10a  
調査時期: 処理後50日

生育期のクログワイに対して高い効果を示した。

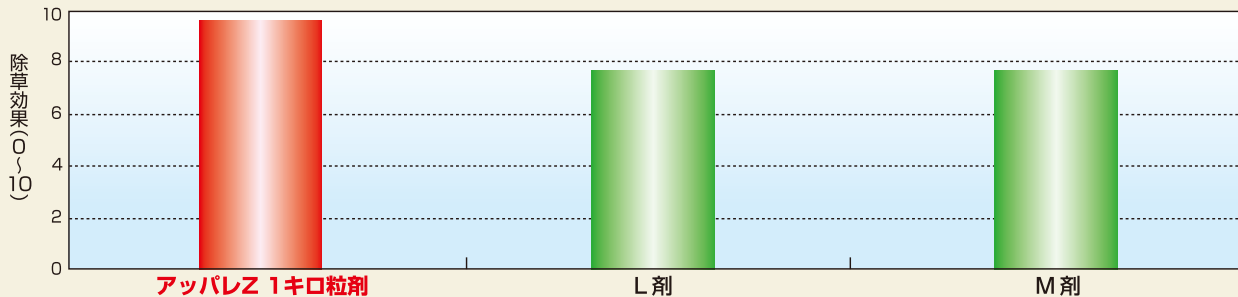
# ノビエ、SU抵抗性コナギに喝!



## ノビエに対する効果

ノビエ3葉期まで高い効果を示し、持続性も優れた。

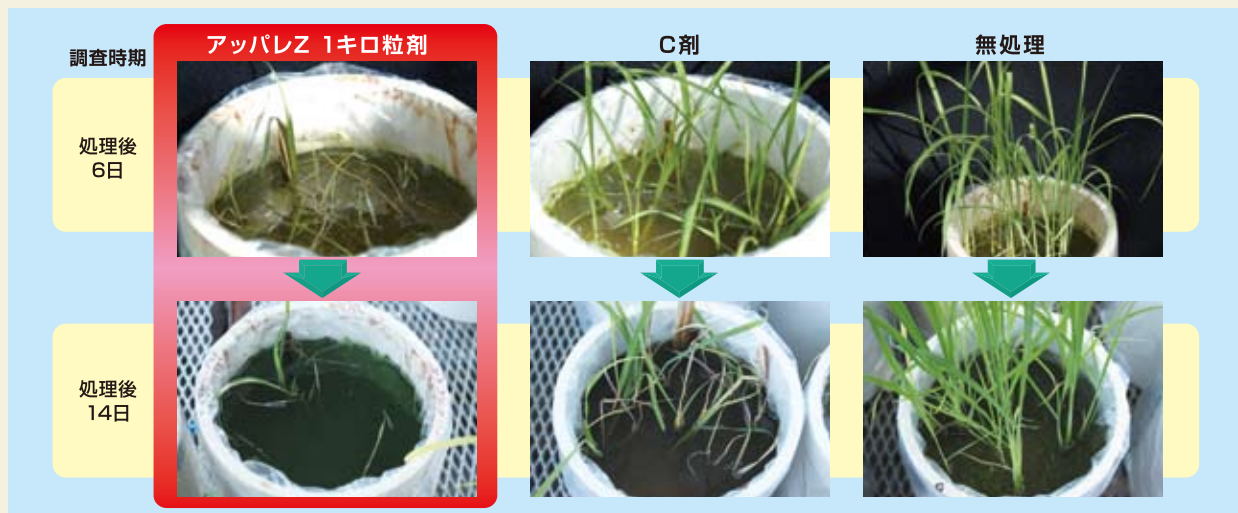
### 3葉期のノビエに対する効果と持続性 (協友アグリ研究所 2015年)



供試薬量: 1kg/10a 調査時期: 処理後40日  
除草効果: 0(効果なし)~10(枯死)

3葉期のノビエに対して高い効果を示し、長期間ノビエの発生を抑えた。

### 高葉齢のノビエに対する速効性 (協友アグリ研究所 2015年)



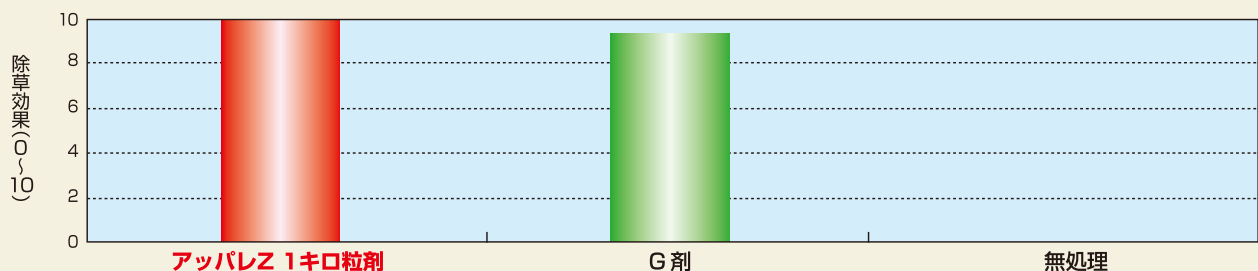
供試薬量: 1kg/10a

高葉齢のノビエに対し、処理6日後で顕著な効果があらわれ、14日後に枯殺した。



## SU抵抗性コナギに対する効果 (協友アグリ研究所 2015年)

2.5葉期のSU抵抗性コナギにも速効的に高い効果を示した。



アップレZ 1キロ粒剤

G 剤

無処理



供試薬量: 1kg/10a 調査時期: 処理後40日 評価基準: 0(効果なし)~10(枯死)

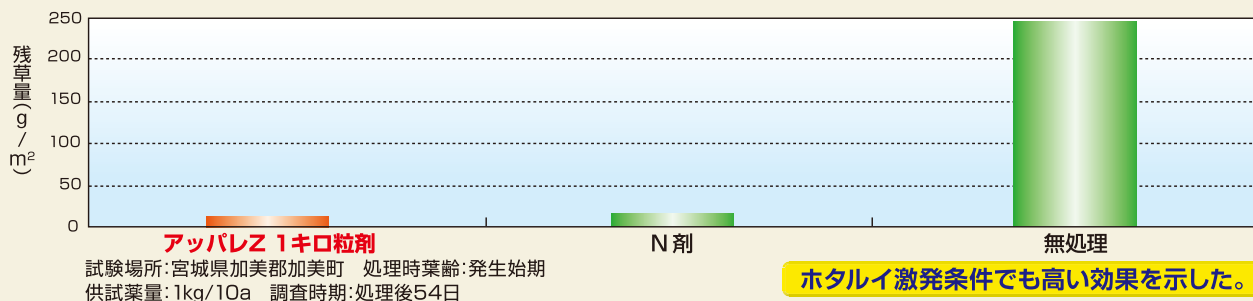


# 難防除のホタルイに喝!

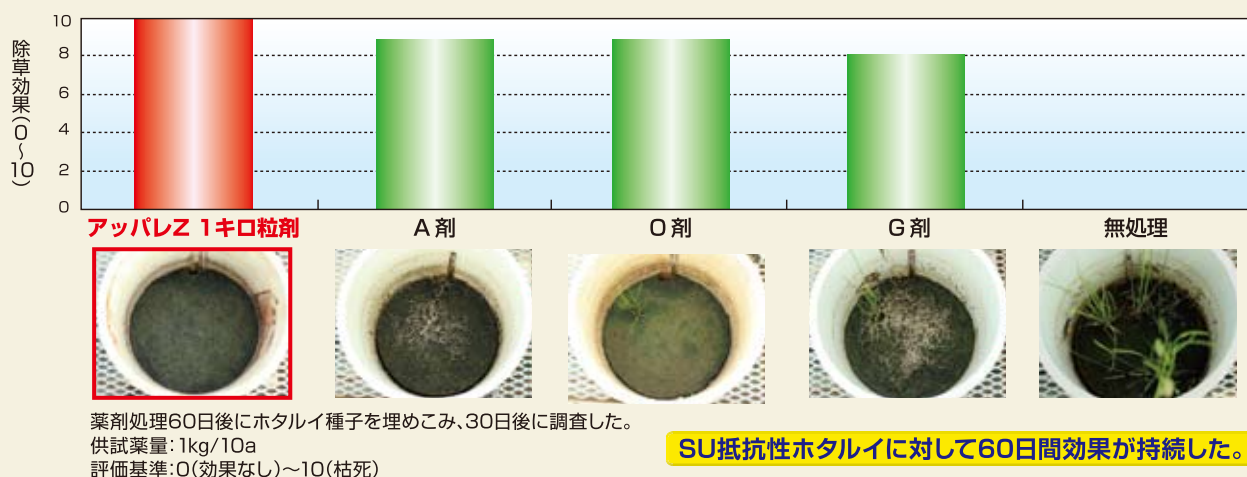


**難防除のホタルイに対する効果**  
難防除のホタルイに優れた効果が長期間持続した。

## ホタルイ激発圃場での除草効果（協友アグリ 2015年）



## SU抵抗性ホタルイに対する効果の持続性（協友アグリ研究所 2015年）



## アップアレZの現地圃場試験結果（協友アグリ 2015年）

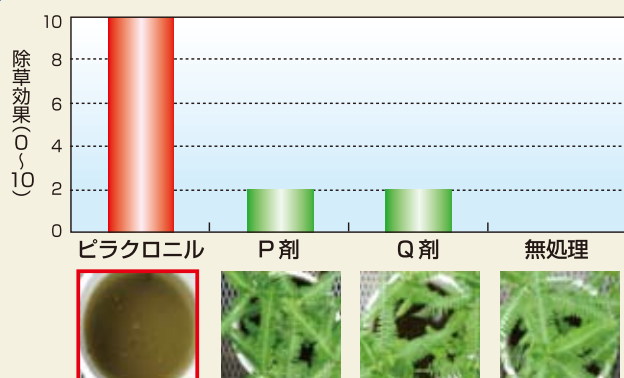
ノビエ、ホタルイ、アゼナ多発圃場において雑草の発生を長期間抑制した。



**ノビエ、ホタルイ、アゼナなどの雑草に対して高い効果を示した。**



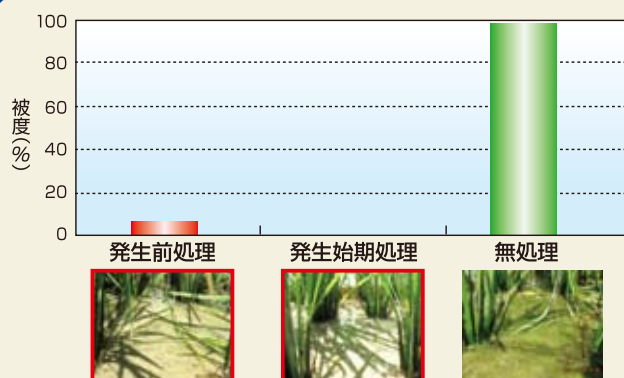
## 参考 ピラクロニルのクサネムに対する効果 (協友アグリ研究所 2013年)



薬剤処理50日後にクサネムを播種、播種30日後に調査  
除草効果:0(効果なし)~10(枯死)

クサネムに対して優れた効果を示した。

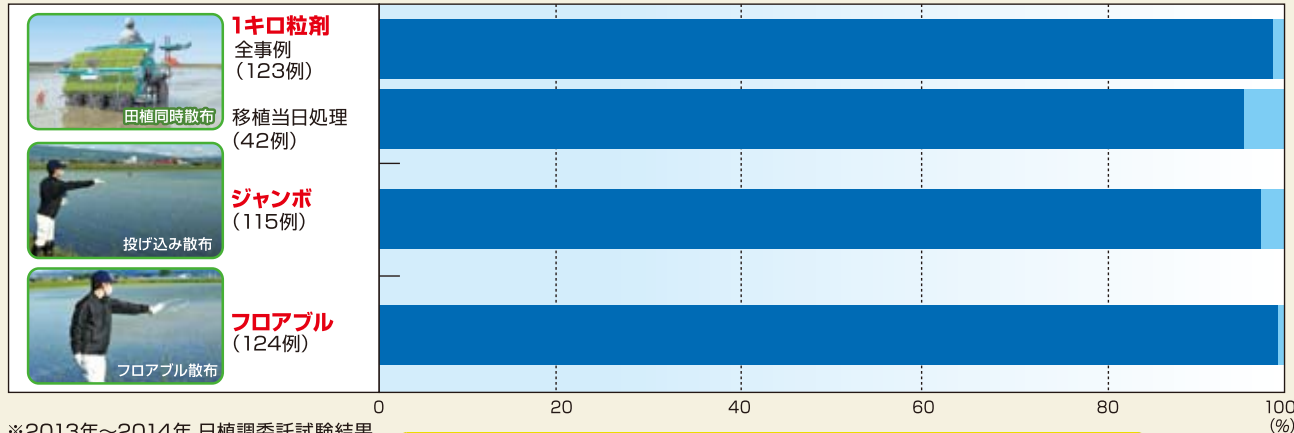
## 参考 ピラクロニルの藻類に対する効果 (大阪府環境農林水産総合研究所 2011年)



対象草種:藻類(アミドロ、アオミドロ混発)  
薬量:ピラクロニル...18gai/10a  
薬剤処理:発生前 6月24日(移植後1日)、  
発生始期 6月27日(移植後4日、被度5~10%)  
調査:移植後43日に各区の藻類の発生状況(被度)を調査

藻類に対して優れた効果を示した。

## 水稲に対する安全性(日植調委託試験まとめ)

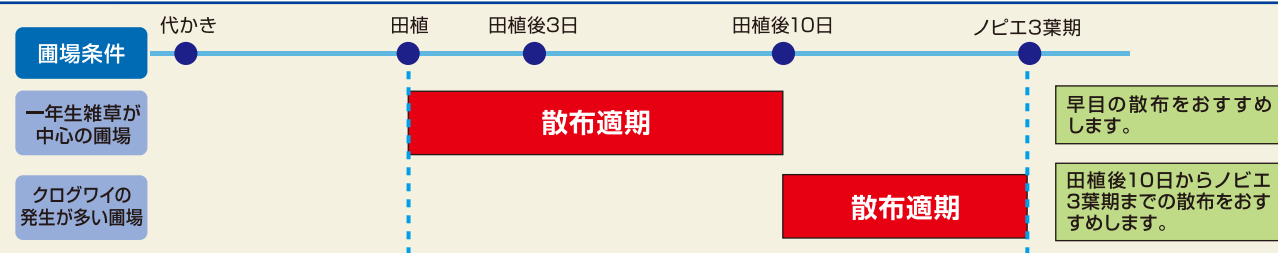


※2013年~2014年 日植調委託試験結果  
(1キロ粒剤・ジャンボ・フロアブル)

\* カッコ内の数字は試験例数

アッパレZ3剤型、全362試験の内、ほとんどが薬害無~微の事例であり、  
水稲に対する高い安全性が確認された。

## アッパレZの上手な使い方 一年生雑草から難防除のクログワイまで優れた効果が長期間持続します。



- アッパレZ1キロ粒剤は田植同時処理可能、ジャンボとフロアブルは田植後3日からの使用時期です。
- 代かきから田植まで一週間以上空く場合は、初期除草剤との体系処理を行ってください。
- クログワイは発生期間が長いため、必要に応じて中後期除草剤との体系処理を行ってください。
- 散布適期は地域により差があります。図の散布適期は平均的な日数となっております。

# 適用雑草の範囲及び使用方法

## アッパレZ 1キロ粒剤

■有効成分(一般名) ピラクロニル:2.0% プロピリスルフロニル:0.9% プロモブチド:9.0% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23719号

| 作物名  | 適用雑草名                                                                                | 使用時期                               | 10a当り使用量 | 総使用回数         | 使用方法               | 雑草名              | 散布適期       |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|----------|---------------|--------------------|------------------|------------|
| 移植水稻 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、<br>ウリカワ、ミズガヤツリ、クログワイ、<br>ヒルムシロ、セリ<br>アオミドロ・藻類による表層はく離 | 移植時                                | 1kg      | 本剤 1回         | 田植同時<br>散布機で<br>施用 | ノビエ              | 3葉期まで      |
|      |                                                                                      |                                    |          | ピラクロニル剤 2回    |                    | ミズアオイ            | 1葉期まで      |
|      |                                                                                      |                                    |          | プロピリスルフロン剤 2回 |                    | ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ | 3葉期まで      |
|      |                                                                                      | 移植直後～<br>ノビエ3葉期<br>但し、<br>移植後30日まで |          | プロモブチド剤 2回    | 湛水散布               | ミズガヤツリ           | 4葉期まで      |
|      |                                                                                      |                                    |          |               |                    | ヒルムシロ            | 発生期まで      |
|      |                                                                                      |                                    |          |               |                    | セリ               | 再生前～再生始期まで |
|      |                                                                                      |                                    |          |               |                    | クログワイ            | 発生前～発生始期まで |
|      |                                                                                      |                                    |          |               |                    | アオミドロ・藻類による表層はく離 | 発生前        |

## アッパレZ フロアブル

■有効成分(一般名) ピラクロニル:3.7% プロピリスルフロニル:1.7% プロモブチド:16.8% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23778号

| 作物名  | 適用雑草名                                                                                 | 使用時期                                | 10a当り使用量 | 総使用回数      | 使用方法 | 雑草名        | 散布適期             |            |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|----------|------------|------|------------|------------------|------------|
| 移植水稻 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、<br>ウリカワ、ミズガヤツリ、クログワイ、<br>ヒルムシロ、セリ、<br>アオミドロ・藻類による表層はく離 | 移植後3日～<br>ノビエ3葉期<br>但し、<br>移植後30日まで | 500mℓ    | 本剤         | 1回   | 原液<br>湛水散布 | ノビエ              | 3葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |          | ピラクロニル剤    | 2回   |            | ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ | 3葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |          | プロピリスルフロン剤 | 2回   |            | ミズガヤツリ           | 4葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |          | プロモブチド剤    | 2回   |            | ヒルムシロ            | 発生期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |          |            |      |            | セリ               | 再生前～再生始期まで |
|      |                                                                                       |                                     |          |            |      |            | クログワイ            | 発生前～発生始期まで |
|      |                                                                                       |                                     |          |            |      |            | アオミドロ・藻類による表層はく離 | 発生前        |
|      |                                                                                       |                                     |          |            |      |            |                  |            |

## アッパレZ ジャンボ

■有効成分(一般名) ピラクロニル:5.0% プロピリスルフロニル:2.25% プロモブチド:22.5% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23720号

| 作物名  | 適用雑草名                                                                                 | 使用時期                                | 10a当り使用量                      | 総使用回数                                               | 使用方法                                | 雑草名                         | 散布適期       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|------------|
| 移植水稻 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、<br>ウリカワ、ミズガヤツリ、クログワイ、<br>ヒルムシロ、セリ、<br>アオミドロ・藻類による表層はく離 | 移植後3日～<br>ノビエ3葉期<br>但し、<br>移植後30日まで | 小包装<br>(バック)<br>10個<br>(400g) | 本剤 1回<br>ピラクロニル剤 2回<br>プロピリスルフロニル剤 2回<br>プロモブチド剤 2回 | 水田に<br>小包装<br>(バック)の<br>まま<br>投げ入れる | ノビエ                         | 3葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | ミズアオイ                       | 1葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | ホタルイ、ヘラオモダカ、<br>ミズガヤツリ、ウリカワ | 3葉期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | ヒルムシロ                       | 発生期まで      |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | セリ                          | 再生前～再生始期まで |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | クログワイ                       | 発生前～発生始期まで |
|      |                                                                                       |                                     |                               |                                                     |                                     | アオミドロ・藻類による表層はく離            | 発生前～発生始    |

\*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

## 使用上の注意事項

### 3製剤に共通する注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用をさけてください。
- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、被害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、異常気象の場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

### 1キロ粒剤・フロアブルに共通する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### フロアブル・ジャンボに共通する注意事項

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。

### 1キロ粒剤の注意事項

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。移植時または移植直後に使用する場合は、未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。

### フロアブルの注意事項

- 使用前には容器を軽く振ってください。
- 散布の際は手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

### ジャンボ剤の注意

- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態を保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らせたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(バック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な被害や効果不足を生じる可能性があるため使用をさけてください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。

本資料の記載内容は2016年4月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。●空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。